教員養成に対する理念・構想

　財政的・人的に経営規模の大きい大学と比べて、定員がわずか150 人（× ４学年）の小規模である本学が、大規模・中規模校と並んで教職課程を設置するには教員養成に対する強い意志と高い志が必要である。

　本学は教育方針で「すべての教育は、人格教育が目的」と謳っている。本学では一人ひとりの学生が、自分自身の存在の究極的な価値に気づき、人間として自他の尊厳を自覚し、他者のために共に働くことができるような人間として成長し、社会に出ていくことができるように助力することを教育の核心と考え、そのための教育課程を展開している。

　教員養成においては、小規模校のきめ細かな教育―少人数展開授業、教職サークル活動、卒業後や教員になってからの英語教科指導法や教材開発の相談活動等―を実施することで、教職志望者一人ひとりに教職の責任の重さをしっかり認識させると同時に学習指導のための実践的なスキルの着実な習得を図り、小規模校ならではの教員養成課程の一モデルを築きあげる所存である。

　少子化の時代に育ったゆえか、対人関係に希薄で、「本気で頑張った経験が少ない」「保護者が子どもに関与する度合いが強まっている」「全面的に否定されたことがなく、ちょっとできないことがあると激しく落ち込む」「マイナスの状況に対応できない」「待っていて都合のいいものだけを取り入れる。私的価値観を重視する傾向が強い」などの最近の中学生、高校生や若者に見られる現実の傾向・特徴に対応できる教員を養成することも教員養成の大きな理念の一つになる。

　いつの時代にも教師に求められる資質能力として「専門性」「人間性」「社会性」「広く豊かな教養」「教員としての使命感、責任感」が求められているが、本学では、「コーディネート能力」「創造性のあるプロデュース能力」「開発能力」「協働して教育課題に立ち向かうための支え合う同僚性」の育成をこれからの教員に必要な資質能力に加えて、教員養成構想の基盤概念とする。
そのため、めざす教員像として、
・ 教育的困難・課題を克服する使命感、確かな授業力を培う専門的知識、豊かな教養を有する教員
・ 先行き不透明な時代において、現代の豊かさにどう対処するか、複数の視点を持ち、一元的でなく多元的な価値観を有する教員
・柔軟性や人間的な奥行きのある教員
を教員養成の基本構想とする。

　これらの教員養成のためには、入学早期から教員という職業の責任の重さをしっかり理解し、自己の教職適性と課題を十分に自覚させることが大切である。教職科目とは別に、教養科目として「教育と人間」を設置し、教育現場から幅広い講師の特別講義を受け、教育問題等への理解を促し、教職への気づきを入学早期から高める教職キャリア形成を図ることとする。

（文部科学省へ教職課程の設置申請時に提出した「設置理念」より部分抜粋）

自分への問いかけ

What's important is not what I did in class, but what I have produced in class!

何をやったかでなく、何を生み出すことができたかが大切なのだ！

大阪女学院大学がめざす教員の資質

授業力の育成

授業デザイン力

授業デザイン力	授業に対する思い	授業に対するひたむきさ:使命、情熱		
	学習者の把握:学習意識調査、学習レベルのアセスメント			
	目標の設定:長期(学期単位・学年単位)・短期(レッスン単位・学期考査単位)			
	授業の発想 授業の構想 教材の作成 レッスン計画	教材の読み込み:教材の構成確認、補助教材の選択・創作 授業内容の構成:授業の目標をいかに展開するか 授業過程の俯瞰 学習方法・学習形態・教育機器の選択		
		レッスン(単元課)の指導計画 授業進行案(学習指導案)の作成 学習評価計画の作成		
授業展開力	コミュニケーション	話しかけ Verbal Approach	説明・解説 助言・指導 モデル・リーディング 例示 発問(問いかけ) 指示 進行 応答(質問に対する) ことばづかい	
		態度・パフォーマンス (Non-verbal Approach)	ジェスチャー 視線 表情 演技:授業内容、指導	
	ポジション	教室内での立ち位置 授業内容に関わりのない言動への対応		
	教材・教具	板書	内容構成と選択 記載表現	
		資料・機器の使用	補助資料・補助プリントの使用 ITなど教育機器の使用	
	学習者の評価活動:学習者の自律的な学習を促進するための振り返り			
授業評価力	授業の振り返り、アクションリサーチ:授業の改善			

授業力の育成

→

授業デザイン力

授業デザイン力	授業に対する思い	授業に対するひたむきさ:使命、情熱	
	学習者の把握:学習意識調査、学習レベルのアセスメント		
	目標の設定:長期(学期単位・学年単位)・短期(レッスン単位・学期考査単位)		
	授業の発想 授業の構想 教材の作成 レッスン計画	教材の読み込み:教材の構成確認、補助教材の選択・創作 授業内容の構成:授業の目標をいかに展開するか 授業過程の俯瞰 学習方法・学習形態・教育機器の選択	
		レッスン(単元課)の指導計画 授業進行案(学習指導案)の作成 学習評価計画の作成	
授業展開力	コミュニケーション	話しかけ Verbal Approach	説明・解説 助言・指導 モデル・リーディング 例示 発問(問いかけ) 指示 進行 応答(質問に対する) ことばづかい
		態度・パフォーマンス (Non-verbal Approach)	ジェスチャー 視線 表情 演技:授業内容、指導
	ポジション	教室内での立ち位置 授業内容に関わりのない言動への対応	
	教材・教具	板書	内容構成と選択 記載表現
		資料・機器の使用	補助資料・補助プリントの使用 ITなど教育機器の使用
	学習者の評価活動:学習者の自律的な学習を促進するための振り返り		
授業評価力	授業の振り返り、アクションリサーチ:授業の改善		

授業力の育成

→

授業デザインカ

授業デザイン力	授業に対する思い	授業に対するひたむきさ:使命、情熱	
	学習者の把握:学習意識調査、学習レベルのアセスメント		
	目標の設定:長期(学期単位・学年単位)・短期(レッスン単位・学期考査単位)		
	授業の発想 授業の構想 教材の作成 レッスン計画	教材の読み込み:教材の構成確認、補助教材の選択・創作 授業内容の構成:授業の目標をいかに展開するか 授業過程の俯瞰 学習方法・学習形態・教育機器の選択	
		レッスン(単元課)の指導計画 授業進行案(学習指導案)の作成 学習評価計画の作成	
授業展開力	コミュニケーション	話しかけ Verbal Approach	説明・解説 助言・指導 モデル・リーディング 例示 発問(問いかけ) 指示 進行 応答(質問に対する) ことばづかい
		態度・パフォーマンス (Non-verbal Approach)	ジェスチャー 視線 表情 演技:授業内容、指導
	ポジション	教室内での立ち位置 授業内容に関わりのない言動への対応	
	教材・教具	板書	内容構成と選択 記載表現
		資料・機器の使用	補助資料・補助プリントの使用 ITなど教育機器の使用
	学習者の評価活動:学習者の自律的な学習を促進するための振り返り		
授業評価力	授業の振り返り、アクションリサーチ:授業の改善		

授業力の育成

授業デザイン力

授業力とは、授業デザイン力、授業展開力、授業評価力を総合した力である。授業展開時での指導技術は教員に欠かせない資質能力であるが、授業の効果を一番左右するものは授業デザイン力である。この出発点の構想・計画は授業の生命となる。

そのため本学では、教材をしっかり読み込み、教材の構成を確認し、英語授業としてどのようなねらい・目標を設定するのがいいのかを検討し、それを実現させるための教材準備、発問の工夫、コミュニケーション活動の計画など、確かな授業デザイン力を育成することを教員養成の第一目標としている。

何かをデザインする力，プロデュースする力がこれからの教育にますます必要になると考えている。

授業デザイン力	授業に対する思い	授業に対するひたむきさ:使命、情熱	
	学習者の把握:学習意識調査、学習レベルのアセスメント		
	目標の設定:長期(学期単位・学年単位)・短期(レッスン単位・学期考査単位)		
	授業の発想 授業の構想 教材の作成 レッスン計画	教材の読み込み:教材の構成確認、補助教材の選択・創作 授業内容の構成:授業の目標をいかに展開するか 授業過程の俯瞰 学習方法・学習形態・教育機器の選択	
		レッスン(単元課)の指導計画 授業進行案(学習指導案)の作成 学習評価計画の作成	
授業展開力	コミュニケーション	話しかけ Verbal Approach	説明・解説 助言・指導 モデル・リーディング 例示 発問(問いかけ) 指示 進行 応答(質問に対する) ことばづかい
		態度・パフォーマンス (Non-verbal Approach)	ジェスチャー 視線 表情 演技:授業内容、指導
	ポジション	教室内での立ち位置 授業内容に関わりのない言動への対応	
	教材・教具	板書	内容構成と選択 記載表現
		資料・機器の使用	補助資料・補助プリントの使用 ITなど教育機器の使用
	学習者の評価活動:学習者の自律的な学習を促進するための振り返り		
授業評価力	授業の振り返り、アクションリサーチ:授業の改善		

2009年 12月 21日 åéójì˙

大阪女学院大学　教職課程

確かな授業デザイン力の養成をめざします!

授業デザイン力

授業に対する思い
（使命・情熱）
伝えたいことに対するひたむきさ

授業の発想
(発想力)
教材を読み込む力

日常生活での問題意識
問題解決能力

授業の教材開発
（教材力）
教材を構成する力

授業の構想
(構成力)
中長期カリキュラムを見据えた構成力

生徒の学力の育成

基礎学力の育成
基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得

活用学力の育成
知識と技能を実際に活用する力

探究学力の育成
課題を発見追求する力

本学での教職免許取得のための単位数

基礎資格	学士の学位を有すること

免許取得に係る最低修得単位数

	免許法で定める単位数		本学で定める単位数	
免許状の種類 / 免許法で規定する科目	高等学校教諭一種	中学校教諭一種	高等学校教諭一種	中学校教諭一種
教科に関する科目	20	20	28	28
※教科又は教職に関する科目	16	8	16	8
教職に関する科目	23	31	35	39

免許法施行規則第 66 条の6に定める科目	日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作

大阪女学院大学　教職課程履修のプロセス

＝確かな授業力（おもしろい教材を見つけ、どう問いかけながら展開するか）を身につけ、豊かな英語授業ができる教員を養成する＝

≪養成する教員人材像≫

・教育的困難を克服する使命感、確かな授業力を培う専門的知識、豊かな教養を有する教員　・現代の豊かさにどう対処するか、複数の視点を持ち、一元的でなく多元的な価値観を有する教員　・柔軟性や人間的な奥行きのある教員

教科に関する科目・66 条 6 科目

教職に関する科目・教職準備活動

大阪女学院の英語・教職カリキュラム

英語カリキュラム

教職カリキュラム

授　業

修得ステップと検証

教職支援と検証

1年生　計画

◆教科に関する科目
14 単位
◆66 条６科目…７単位
◆教職に関する科目
２単位
●ＴOEICIP 得点チェック
500 点以上

■英語学
・Grammar（2 単位・通年）
・Topic Writing（６単位・通年）

■英語コミュニケーション
・Topic Reading（６単位・通年）

■外国語コミュニケーション
・Topic Discussion（３単位・通年）
■体育
・身体活動（１単位・半期）
・身体への気づき３（１単位・半期）
■情報機器の操作
・情報の理解と活用（２単位・半期）

■教職の意義
・教職概論（２単位 半期・秋）

■教職オリエンテーション
・教職ガイダンス…4・8・2月
■教職サークル活動
■教職キャリアファイル

◆教職講座
「教育と人間」…教職の重責の理解　夏季集中講座
◆教職サークルレター発行
●教職資格準備テスト

2年生　学び

◆教科に関する科目
12 単位～
◆66 条６科目…２単位

◆教職に関する科目
８～10 単位
●ＴOEICIP 得点チェック
600 点以上
●基礎力確認テスト

■英語学
・英語学（２単位・半期）
・[言語学（２単位・半期）]
■英米文学
・英文学の巨匠
・米文学の巨匠
■英語コミュニケーション
・Study of Current World Events
（４単位・通年）
・[Debate Ⅰ（２単位・半期）]

■異文化理解
・異文化コミュニケーション論
（２単位・半期）
・[国際理解とグローバル化]
（２単位・半期）
■日本国憲法
・日本国憲法（2単位・半期）

■教育の基礎理論
・教育学概論（２単位・半期）
・教育心理学（２単位・半期）
・教育の制度と経営（２単位・半期）

■教育課程・指導法
・教育課程論（２単位・半期）
・道徳教育の指導法（２単位・半期）

■教職ガイダンス…4・8・2月
■介護等体験申し込み手続き
■教職サークル活動

■教職試験対策講座
・一般教養（国語・数学・理科・社会）…夏季・秋季土曜

◆介護等体験事前オリエンテーション…９月
◆全国公開模試（12 月中旬・２月中旬）
◆教員採用試験対策春季ビデオ講座
◆教職サークルレター発行
●教職資格テスト（３月）

3年生　学び点検準備

◆教科に関する科目
２単位～

◆教職に関する科目
20 単位

●ＴOEICIP 得点チェック
695 点以上

●教育実習資格試験

■英語コミュニケーション
・Advanced Presentation & Discussion（２単位・半期）
・［Teaching of English Phonetics 音声指導法
（２単位・半期）］
・[Language Acquisition
言語習得（２単位・半期）]

■教育課程・指導法
・英語科教育法Ⅰ（４単位・通年）
・英語科教育法Ⅱ（４単位・通年）
・特別活動の指導法（２単位・半期）
・教育方法の理論と実践
（２単位・半期）
・教育の方法と技術（２単位・半期）

■生徒指導・進路指導
・生徒指導の理論と方法（２単位・半期）
・進路指導の理論と方法（２単位・半期）
■教育相談
・教育相談の理論と方法（２単位・半期）

■教職ガイダンス…4・8・2月
・介護等体験先・日程決定（４月）
■介護等体験実習（５月～11 月）
■教育フィールドワーク
■スクールサポートボランティア

■教職試験対策講座
・教職教養・一般教養

◆教育実習説明会１(内諾説明会…4月)
◆実習希望校訪問・内諾書提出
◆介護等体験事前説明会、健康診断書・検便依頼
◆教員採用試験対策春季講座合宿
◆全国公開模試（12 月中旬・2月中旬）
◆教育実習説明会2(3月)
●教職資格テスト（２月）

4年生　実践改善調整

◆教職に関する科目
５～８単位

■教育実習
・事前事後の指導（１単位・半期）
・教育実習Ⅰ・Ⅱ
（２単位（高）・４単位（中））
■教職実践演習（２単位・半期）
■授業デザインスキルアップ演習（夏季集中）

■教職ガイダンス…4月
・教育実習指導
■教職試験対策演習
・面接
・模擬授業

◆教員採用試験面接指導
◆教員採用試験論作文指導
◆全国公開模試（4月中旬・6月）
◆採用試験説明会
◆教員採用試験（７月下旬～８月下旬）
◆教採合格者採用前指導

教科に関する科目…「英語学」「英米文学」「英語コミュニケーション」「異文化理解」　高一種 28 単位、中一種 28 単位
66 条の６科目…「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」…７単位

教職に関する科目…「教職の意義等に関する科目」「教育の基礎理論に関する科目」「教育課程及び指導法に関する科目」「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」「教育相談の理論及び方法」「教育実習」
高一種 35 単位、中一種 39 単位

ゴール：生徒の学習意欲を引き出す授業構想と展開の工夫ができる授業力を有する教員の養成　　中学校教諭一種免許状（英語）・高等学校教諭一種免許状（英語）

教科に関する科目

66条の６に関する科目

教科等に関する科目

	免許法施行規則に定める科目	本学で定める最低修得単位数	本学授業科目	単位	必修	選択	配当年次	備考
教科に関する科目	英語学	14	英語学	2	○		2･3	
			Grammar-1	1	○		1	
			Grammar-2	1	○		1	
			Topic Writing-1	3	○		2	
			Topic Writing-2	3	○		2	
			言語学	2		○	2･3	
	英米文学	4	英文学の巨匠	2	○		2	
			米文学の巨匠	2	○		2	
	英語コミュニケーション	8	Topic Reading-1	3	○		1	
			Topic Reading-2	3	○		1	
			Study of Current World Events-1	2	○		2	
			Study of Current World Events-2	2	○		2	
			Advanced Presentation & Discussion	2	○		3	
			Teaching of English Phonetics(音声指導法)	3		○	3･4	
			Language Acquisition （言語習得）	3		○	3･4	
			Debate Ⅰ	2		○	2･3	
	異文化理解	2	異文化コミュニケーション論	2	○		2･3	
			国際理解とグローバル化	2		○	2･3	
免許法施行規則第66条の6に規定する科目	日本国憲法		日本国憲法	2	○		2	
	体育		身体活動	1	○		1	
			身体への気づき３	1	○		2	
	外国語コミュニケーション		Topic Discussion-1	1.5	○		1	
			Topic Discussion-2	1.5	○		1	
	情報機器の操作		情報の理解と活用	2	○		1	

教職に関する科目

教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目		本学授業科目	単位	必修	選択	開校形式	配当年次	備考
第2欄	教職の意義等に関する科目	教職概論	2	○		半期	1	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	2	○		半期	2	
		教育心理学	2	○		半期	2	
		教育制度と学校経営	2	○		半期	2	
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2	○		半期	3	
		Curriculum Design (カリキュラムデザイン)	3		○	半期	3･4	
		英語科教育法 Ⅰ	4	○		通年	3	
		英語科教育法 Ⅱ	4	○		通年	3	
		道徳の指導法	2		○	半期	3	中免のみ必修
		特別活動の指導法	2		○	半期	3	中免のみ必修
		教育方法の理論と実践	2	○		半期	3	
		教育の方法と技術	2	○		半期	3	
		授業デザイン・スキルアップ演習	1		○	集中	4	
		Studies in Language Testing (言語テスト法)	3		○	半期	3･4	
		Teaching English as a Foreign Language(英語教授法)	3		○	半期	3･4	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の実際	2	○		半期	3	
		教育相談の実際	2	○		半期	3	
第５欄	教育実習	教育実習事前事後指導	1	○			4	
		教育実習Ⅰ	4		○		4	中免のみ必修
		教育実習Ⅱ	2		○		4	高免のみの取得希望者対象
第6欄	教育実践演習	教育実践演習	2	○		半期	4	

(注)　1.「教職に関する科目」は、原則配当年次に従ってすべて修得しなければならない

2.「教職に関する科目」は、卒業の要件とする単位に算入されないものとする

3. 第5欄の教育実習履修については、第6条に履修資格を定める

ホンモノの教員、
本気の教員を育てたい

教職課程履修要件

本学では履修要件を厳しく設定している

第５条の２　教職課程履修者が、次年度継続して教職課程を履修できる要件は次のとおりとし、各学年の年度末に判定を行う。
(1) １年次終了時において TOEIC500 点以上であること
(2) ２年次終了時において TOEIC600 点以上であること
　及び英語基礎群科目の「Grammar-1」「Grammar-2」「Phonetics-1」「Phonetics-2」「Topic Reading-1」「Topic Reading-2」「Topic writing-1」「Topic writing-2」は修得のこと
並びに教育実習委員会が作成する 「教員資格基礎学力試験」を受験し、それに合格していること

第６条　　教育実習の履修資格を次のとおりとし、「教育実習」履修の希望者に対し、教育実習委員会による面接審査等を行い、履修許可者を決定する。
〔教育実習履修資格〕
教育実習は、第４年次の学生で、次の要件を充足し、成績が優秀であり、教職に就く意志が強固である者
3 年次終了時において
(1) 卒業要件とする単位の内、未修得単位が 24 単位以内であること。ただし３年次にセメスタ留学した者については、この限りではない。
(2)『教職に関する科目』の内、3 年次配当までの各科目をすべて修得していること
(3) 次の基準を充たしている者であること。
ア .「教科に関する科目」における修得科目のＧ．Ｐ．Ａが 2.0 を超えていること
イ ,「教職に関する科目」における修得科目のＧ．Ｐ．Ａが 2.0 を超えていること
ウ .TOEIC730(誤差範囲内を含む) 点以上の資格を有すること
(4)　同和教育に係る講座を含めて、本学の「人権教育講座」を２年間に亘って完全出席し、単位を修得していること
(5) 3 年次に実施される教育実習ガイダンスに出席している者

教員養成センター

教員養成センターは、初等中等教育の教員養成に係る研究開発を行い、大阪女学院大学及び大阪女学院短期大学(以下「本学」という。)の教職課程の整備充実を図るとともに、地域の教育力の向上に貢献することを目的とする。

教員養成センターは、次に掲げる業務を行う。

(1)教職課程のカリキュラムの編成及び研究開発に関すること。

(2)学生に対する教員免許の取得及び就職についての指導助言に関すること。

(3)中学校・高等学校教員の英語授業に係る研修支援等に関すること。

(4)中学校・高等学校の英語授業における教育実践の資料収集や調査研究に関すること。

(5)中学校・高等学校英語科教員への授業相談や資料提供に関すること。

(6)その他教職課程に係る必要な業務

OJC　教職サークル

教職への早期自覚
英語教育のスキルアップをめざす

OJC 教職サークルは、教職志望の教職課程受講の学生に悉皆加入させ、教職への確かな自覚を早期に養い、英語教育における指導体系の理念を深めると同時に指導技術を高めることを目的に、活動を行う。

教職への早期自覚
- 教育に関する図書紹介
- 教育課題の理解を深める

教職キャリアファイルによる指導
- 教育に関する情報収集とコメントのポートフォリオ
- 教育課題に関する自己の考え整理
- 研究会参加による資料整理
- 面談記録

英語教育勉強会・外部研究会参加
- 指導案、手作り教材、指導アイデアの紹介
- 教え方勉強会の開催（月に一度）
- 外部研究会参加報告

学校・教育機関訪問
- 学校フィールドワーク
-

OJC　教職ネット

英語授業を豊かにするためのネットワーク

OJC 教職ネットは、本学教職課程履修学生、英語教育関係者・中学校高等学校英語科教員に、英語教育に役立つ情報を提供する WEB サイト

英語教育ニューズ

・英語教育に関する最新の記事

英語教育随想

・英語教育を話題にしたエッセイ

英語教育指導案・アイデア集

・指導案、手作り教材、指導アイデアの紹介

・教え方勉強会の開催（月に一度）

英語教育掲示板

・英語教育に関する悩み・質問・意見交換

教職課程特別講座･教員採用試験対策講習　2010年度(構想案)

概　　要				予定実施時期						
現代の教養（これからの教育）				→ ８月中旬 ←						
	目　　的	outcomes	担当者	時限	日	日	日	日	日	日
「教育と人間」	入学早期から教員という職業の責任の重さをしっかり理解し、自己の教職適性と課題を十分に自覚させる 教職課程１年生・２年生悉皆	これからの教員に求められる資質・能力 ・教育問題・課題等への理解 ・教育的困難・課題を克服する使命感 ・確かな授業力を培う豊かな教養 ・創造性のある教育活動のプロデュース能力 ・協働して教育課題に立ち向かうための支え合う同僚性	・教員養成センター教員 ・中等教育現職教員	1	心を開くコミュニケーション活動 中井	新聞記事に見る教育課題 夫	「高校生を教えながら教えられながら」（現職高等学校教員）			
				2	『青い鳥』村内先生の教育：生徒との接し方 中井					
				3		今求められる教育とは 東條	「生徒の意欲を高める」とは 中井			
				4	「中学生を教えながら教えられながら」（現職中学校教員）		指定読書によるスピーチと教育問題のプレゼンテーション 全員			
				5		『灯し続けることば』　大村はまの教育哲学 中垣				
				6	生徒の心を開くコミュニケーションとは　中井		まとめ			

教員採用試験対策								→ ９月中旬 ←		
	目　　的	内　　容	担当者	時限	日	日	日	日	日	日
一般教養	各教科の基礎学力や一般常識､社会人としての教養を充実させ、教員採用一次試験の合格をめざす対策・準備の勉強法を実践できるようにする 教職課程２年生悉皆	国語 ・教員採用試験対策の準備方法 ・国語・小論文の勉強の仕方 数学 ・教員採用試験対策の準備方法 ・数学の勉強の仕方 社会 ・教員採用試験対策の準備方法 ・社会の勉強の仕方（時事問題）	・本学教職非常勤講師 ・元高校教員 ・	1				国語	数学	社会
				2						
				3				数学	社会	国語
				4						
				5				社会	国語	数学
				6						

教育と人間　　１年次夏季集中講座

授業の概要

・教職をめざす学生に，教職への情熱と自覚を促し，教職を相互に自律した個人として自己を形成していくテーマと捉え、教育の本質とは何かを問う授業を行う。

・様々な指導例・エピソードをもとに学校における教職の意義の実際的な理解を図る。

授業計画

第１回　生徒の心を開くコミュニケーション活動
第２回　討論：指定図書『青い鳥』　村内先生の教育：生徒との接し方
第３回　討論：指定図書『青い鳥』　村内先生の教育：生徒との接し方
第４回　講演「中学生を教えながら教えられながら」（現職中学校教員）
第５回　講演「中学生を教えながら教えられながら」（現職中学校教員）
第６回　講演を聴いて　「生徒の心を開くコミュニケーション」とは
第７回　講義・演習　「新聞記事に見る教育課題　①」
第８回　講義・演習　「新聞記事に見る教育課題　②」
第９回　講義・演習　「今求められる教育とは　①」
第１０回　講義・演習　「今求められる教育とは　②」
第１１回　討論：指定図書『灯し続けることば』　大村はまの教育哲学
第１２回　討論：指定図書『灯し続けることば』　大村はまの教育哲学
第１３回　講演「高校生を教えながら教えられながら」（現職高等学校教員）
第１４回　講演「高校生を教えながら教えられながら」（現職高等学校教員）
第１５回　講演を聴いて　「生徒の意欲を高める」とは
第１６回　指定読書によるスピーチと教育問題のプレゼンテーション
第１７回　指定読書によるスピーチと教育問題のプレゼンテーション
第１８回　まとめ

教職講座：「教育と人間」開講予定シラバス

人と人の関わりから

教育は生まれる。

教育に臨むよろこびを

育てたい。

大地に根を張る教育の大切さを

自覚させたい！

大阪女学院大学　教員採用への準備マップ

プレ準備期　準備期　発展期　完成期

4月　7月　10月　12月　4月　6月　8月

一般教養

講習・自主学習（●過去の出題例に挑戦　●基礎学力・知識の確認）

講習・自主学習（●練習問題に挑戦）

新聞購読・広報誌含む（●教育課題の理解　●教育行政の動向等　●世界の教育の動向）

教職教養

計画の立案重要、関心のある領域からスタートする

講習・自主学習　　関心のある教育課題から学習を始める
- ● 過去の出題例に挑戦
- ● 基礎学力・知識の確認

講習・通信講座の活用

参考書：時事答申・法規・学習指導要領・教育史
教育原理・教育心理学などの学習開始

最新事情を効率よく収集するためには公開講座を受ける

- ● 教育時事や各府県の最新情報の収集
- ● 教職教養の問題集を用いた演習

専門教養

新しい学習指導要領の内容を確認する
新旧の違いを意識する

自主学習
- ● 過去の出題例に挑戦
- ● 学習指導要領の確認
- ● 基礎学力。知識の確認

教職サークルの積極的活用

協同学習
模擬授業・指導案作成・板書練習

指導教員からの忌憚のないアドバイスを

- ●教育実習　　●教育実習の反省
- ●授業・指導案・板書の完成

- ● 教育現場での授業見直し・改善
- ● 実習担当教員からの指導

論作文

現時点での実力診断

講習・自主学習
- ● 過去の出題例に挑戦

講習担当教員・大学教員の客観的評価

講習
- ●設定課題のもとの作文指導

教育時事の動向を見ながら予想

予想問題に基づく作文練習

面接・討議

講習・自主学習（●過去の出題例に挑戦　●人前で話をする練習）

●自己 PR や想定問題への解答づくり

面接指導

集団討議練習

教職サークルの活用

説得力に欠ける場合、読書や社会体験を増やす

協同学習（●友人や先生と教育課題について情報交換・論議をする習慣形成）